

## 小麦の播種適期を確認しましょう 過度な早播きになっていませんか？

### 1. 小麦の播種適期は10月25日～11月10日頃！ 過度な早播きは病害や凍霜害を助長します！

適期より早く播種すると、初期生育が軟弱徒長となり、寒害や雪害を受けやすく、黒節病や縞萎縮病の発生を助長します。また、茎立ちが早まり、穂数不足や凍霜害による収量低下が懸念されるため、過度な早播きは避けましょう。

### 2. 播種が遅れた場合は播種量を増やす！

播種が遅れた場合は、播種量を増やし、苗立数を確保しましょう。目標苗立数は150～200本/m<sup>2</sup>（条間25cmの場合、1mに40～50本程度が目安）。また、排水不良のほ場では発芽率が低下するので、播種量を1kg/10a程度増やしましょう。

#### 播種時期別の播種量の目安

播種時期	播種量 (/10a)
10月25日～ 11月10日	8～9 kg
11月10日以降	9～10 kg

### 3. まずは乾いたほ場づくりから！

播種精度や発芽率の向上のために、湿害を発生させないほ場準備が重要です。

現在、台風19号の接近が予想されています。事前に排水溝を設置・点検し、雨水がスムーズに排水されるよう準備しましょう。

台風通過後は、ほ場状態が大きく変化する可能性が考えられます。すでに排水対策を実施したほ場でも、排水溝の再点検を行いましょう。



溝のつなぎ目の部分は必ず連結する